

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 14 号

第 14 週(3月31日～4月6日)

発行年月日:平成20年(2008年)4月11日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

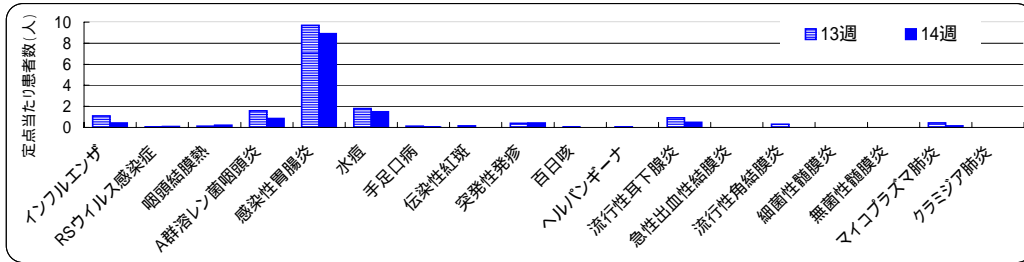
県内におけるインフルエンザの発生はほぼ終息

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は前週の報告数よりさらに少なくなっています。今週増加した疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱(プール熱)および突発性発しんで、インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎等大部分の疾患は減少しています。特にインフルエンザについては、定点当たり患者数が1.00以下となりほぼ終息したと考えられます(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

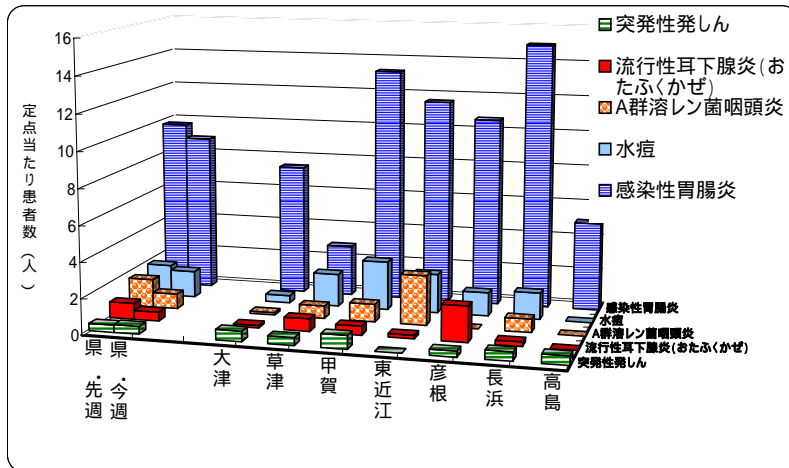
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えた疾患はありません。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で6名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第14週、定点当たり患者数)

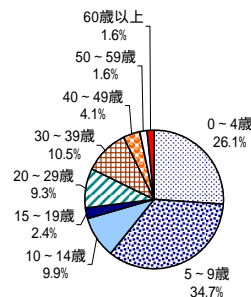


県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、突発性発しんの順に多くなっています。

水痘は甲賀で、A群溶レン菌咽頭炎は東近江で、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は彦根でやや多くなっています。

2007/2008シーズンのインフルエンザの年齢群別割合(2007年第36週～2008年第14週)

2007/2008シーズンのインフルエンザの年齢群別割合(2007年第36週～2008年第14週 累積報告数、滋賀県)



年齢群別の発生割合は、5～9歳 34.7%、0～4歳 26.1%、30～39歳 10.5%、10～14歳 9.9%、20～29歳 9.3%の順に多くなっています。60歳以上については、60～69歳 0.7%、70～79歳 0.5%、80歳～ 0.4%となっています。

また、5～9歳および0～4歳については全国と同様の傾向を示しています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (14週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (14週)	全国 (14週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	6	63	5,829	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	77	^{(*)2} 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	0	2	259	55	4,586
	パラチフス	0	0	6	1	22
四類感染症	E型肝炎	0	0	13	1	54
	A型肝炎	0	0	52	1	154
	デング熱	0	1	15	1	89
	マラリア	0	1	10	1	52
	レジオネラ症	0	2	195	8	655
五類感染症	アメーバ赤痢	0	1	206	15	781
	ウイルス性肝炎	0	1	52	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	33	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	35	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	3	351	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	20	1	56
	梅毒	0	1	181	2	714
	急性脳炎	0	0	63	2	216
	風しん ^{(*)3}	0	0	117	-	-
	麻疹 ^{(*)3}	0	1	5,421	-	-

*1:平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含み増す。

*3:平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第14週(3/31～4/6) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: E型肝炎 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 14例
二類感染症: 結核 242例	A型肝炎 2例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
三類感染症: 細菌性赤痢 2例	デング熱 1例	ウイルス性肝炎 4例
腸管出血性大腸菌感染症 16例	レジオネラ症 10例	梅毒 3例
コレラ 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 9例	風しん 5例
	ジアルジア症 1例	麻疹 221例

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第9～14週、2/25～4/6)

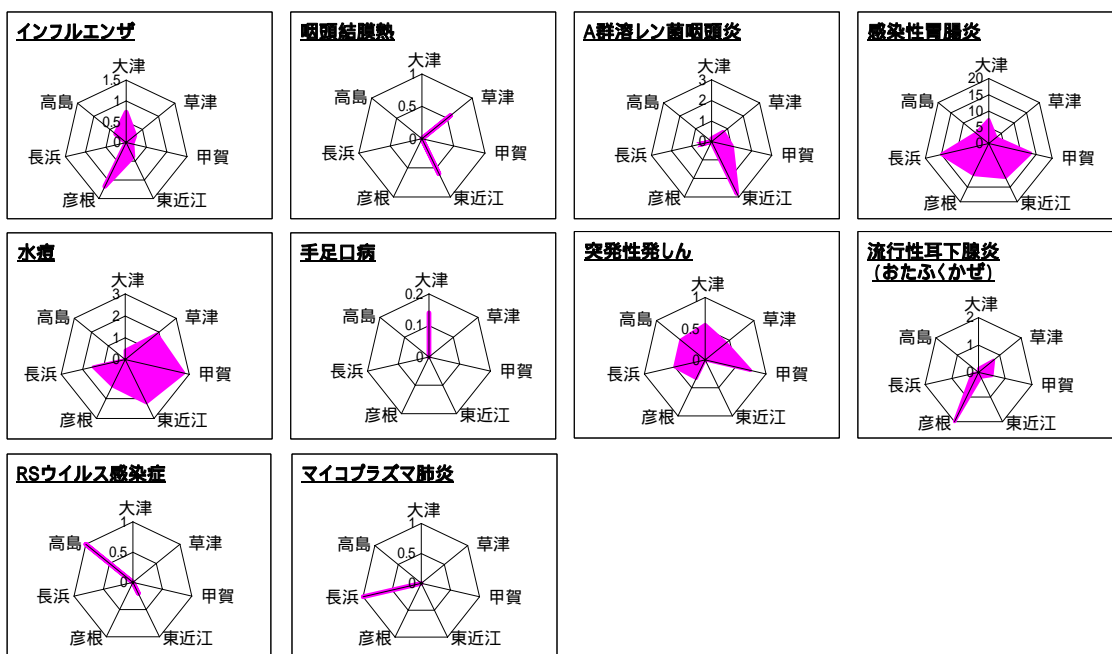
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	9週		10週		11週		12週		13週		14週	
	(2/25～)	(3/3～)	(3/10～)	(3/17～)	(3/24～)	(3/31～)	10	11	12	13	14	
インフルエンザ	5.21	4.23	2.74	1.45	1.09	0.43						
RSウイルス感染症	0.22	0.16	0.09	0.03	0.03	0.09						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.38	0.31	0.38	0.31	0.13	0.22						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.44	2.09	1.78	1.59	1.59	0.84						
感染性胃腸炎	8.47	9.38	10.31	10.41	9.69	8.91						
水痘	2.00	1.53	1.88	2.06	1.78	1.50						
手足口病	0.09	0	0.03	0.13	0.13	0.03						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.06	0.06	0	0.16	0						
突発性発しん	0.56	0.44	0.47	0.50	0.41	0.44						
百日咳	0.03	0	0.03	0	0.03	0						
ヘルパンギーナ	0.03	0.09	0.03	0	0.06	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.31	0.41	0.78	0.78	0.91	0.50						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.43	0.43	0.57	0.29	0.29	0						
細菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.29	0	0	0.43	0.14						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第14週、3/31～4/6)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.43	0.73	0.27	0.14	0.38	1.17	0	0.33	
RSウイルス感染症	0.09	0	0	0	0.20	0	0	1.00	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.22	0	0.57	0	0.60	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	0.14	0.71	1.00	2.80	0	0.75	0	
感染性胃腸炎	8.91	7.43	2.86	13.25	11.60	10.67	15.00	5.00	
水痘	1.50	0.43	1.86	2.75	2.20	1.33	1.50	0	
手足口病	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.44	0.57	0.43	0.75	0	0.33	0.50	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.50	0.14	0.71	0.50	0.20	2.00	0.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 2 4 6 8 10
定点当たり患者数(人)

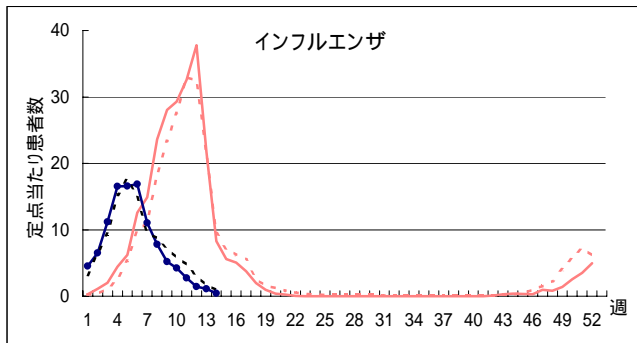
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



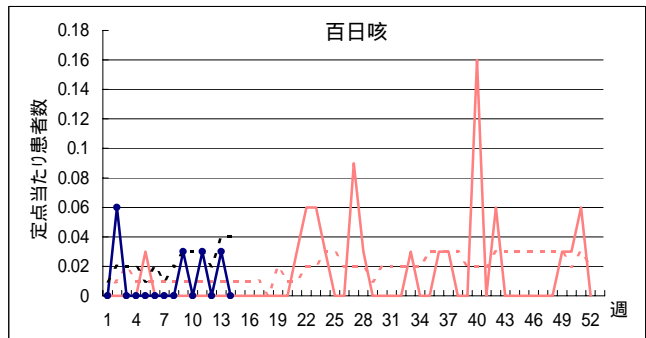
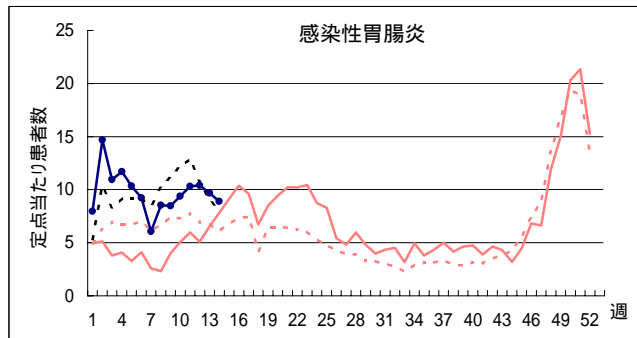
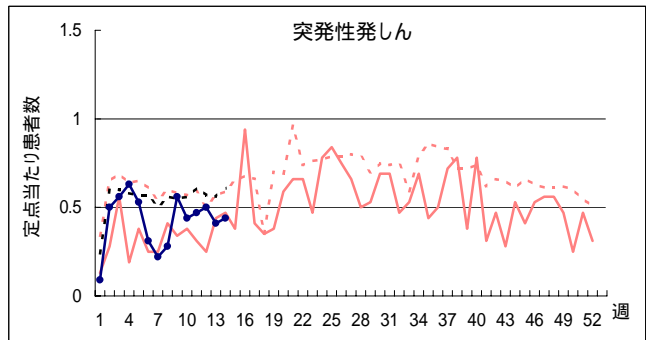
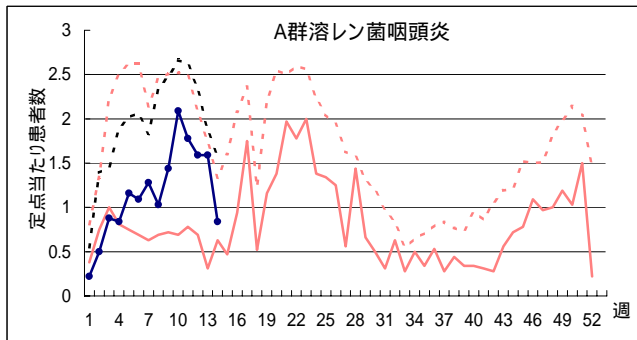
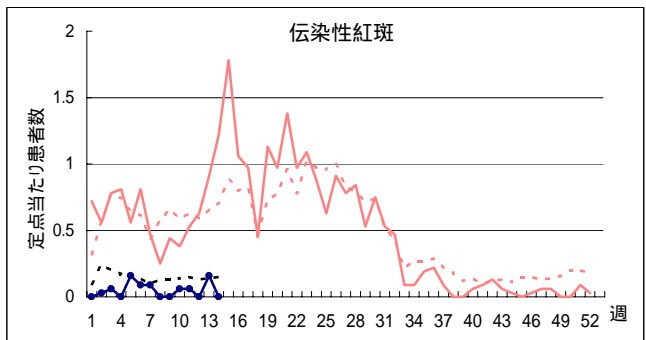
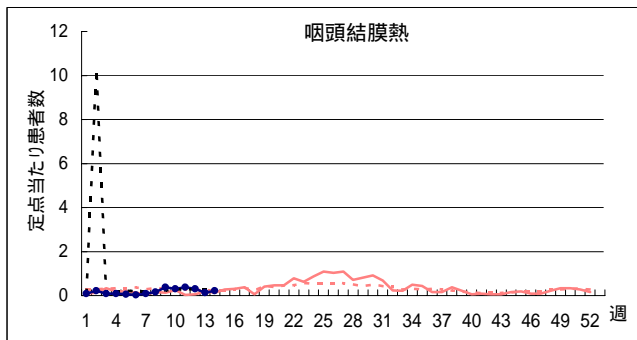
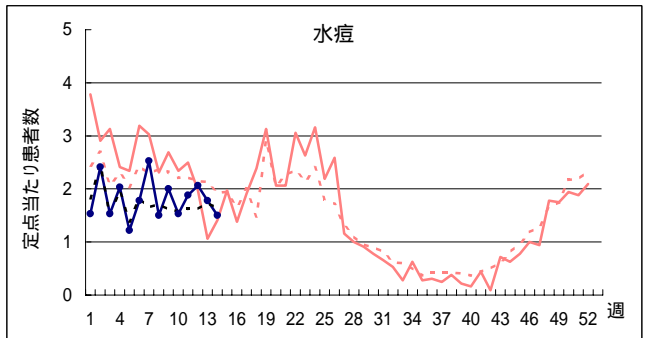
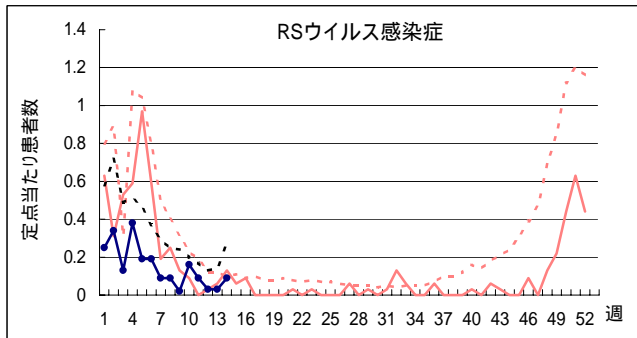
今週の発生状況：

- インフルエンザ-----県全体の定点当たり患者数は0.43となり、インフルエンザの流行はほぼ終息したと推測できますが、彦根保健所管内の定点当たり患者数は1.17となっていますので、引き続き予防に対する注意が必要です。
- A群溶レン菌咽頭炎----県全体としては先週より半減していますが、東近江では先週よりさらに多くなっています。また、長浜の定点当たり患者数は0.75となり、警報継続基準値(2.00)以下となっています。
- 感染性胃腸炎-----草津、甲賀および長浜では先週より減少していますが、他の保健所管内では増加しています。また、甲賀保健所管内では1歳の男児で急増しています。
- 水痘-----草津、甲賀および東近江で多くなっています。
- 流行性耳下腺炎-----彦根で先週よりさらに増加しています。

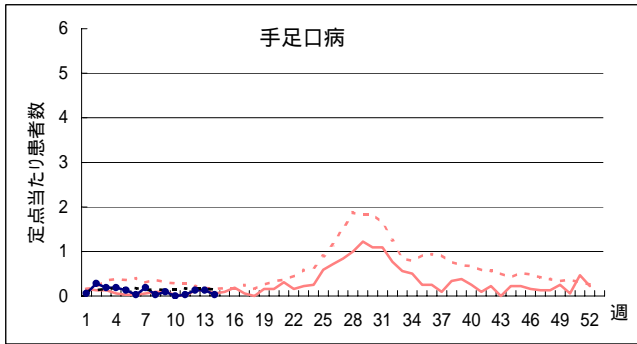
疾病別定点当たり患者数(平成20年第14週、H19.12.31~H20.4.6)



H19 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H20 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted blue line with dots)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第14週、H19.12.31～H20.4.6)



H19 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H20 { 滋賀 ●●●●●
 全国

